

ΕΙΚΩΝ

エイコーン

知っておきたいキリスト教のことば (16)

イコン いこん

わたしたちの教会は「日本聖公会」という教派に属していますが、日本には他にもたくさんの教派があります。ローマ・カトリック教会やプロテスタント教会、またプロテスタントと言っても、さまざまな教派に分かれています。そして「正教会」という教派もあります。

「正教会」とは東方正教会やギリシャ正教とも呼ばれますが、京都にある「京都ハリストス正教会」もその一つです。

正教会とローマ・カトリック教会は 11 世紀ごろ分裂したのですが、正教会にはわたしたちがよく知らない伝統もあります。その一つが「イコン」です。

イコンとはギリシャ語で、似姿や画像、イメージや肖像といった意味を持ちます。「聖画」と言えば分かりやすいかもしれませんが、またその形状は、板に書いた物のほか、フレスコ画やモザイク画なども見られます。イエス様やマリアさん、聖人、また物語の一場面などが描かれます。

正教会のイコンは、ほとんど平面です。しかしローマ・カトリック教会のイコンは平面像だけでなく立像もあり、それらをあわせて「聖画像」と呼ばれることが多いです。しかしカトリックでは、イコンという名ではほとんど呼びませんが。

正教徒(正教会の信徒)の中には、イコンに祈り、口づけをする人たちがいます。一見すると偶像礼拝に見えるかもしれませんが、彼らにとって信仰の対象はイコンそのものではなく、イコンに描かれた原像です。もしそこにイエス様が書かれているのであれば、絵のイエス様はあくまでも信仰の媒介の役割を果たすだけなのです。

ちなみにほとんどのイコンには作者名が書かれていません。それは神さまの恩寵が書く人の手を導くと考えられているからです。

次回は「異端」です。お楽しみに。



「復活」

ホーラ修道院・フレスコ画 (制作年不明)

この世の神が、信じようとはしないこの人々の心の目をくらまし、神の似姿であるキリストの栄光に関する福音の光が見えないようにしたのです。

(コリントの信徒への手紙二 4章4節)

